



## MMWIN<sup>®</sup>みんなのみやぎネット<sup>®</sup>

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために  
Vol. 96

### 第7回「透析連携のためのMMWIN活用Web講座」

2022年9月22日（木）、第7回となる「透析連携のためのMMWIN活用Web講座」をアステラス製薬との共催にて開催いたしました。2019年7月に第1回講座を開催して以降、これまで「地域透析医療支援」、「災害時における支援体制」、「透析施設での現状と課題」と様々なテーマでの開催をしておりました。今回は、座長 東北大学病院腎・高血圧・内分泌科 宮崎真理子先生にご相談し、現在MMWINネットワークで最も施設間連携が進んでいる「眼科連携の活用」について透析施設の皆さまに知っていただくことと、透析施設における「画像連携の活用」という2つをテーマといたしました。

講演1では、東北大学病院眼科 横山悠先生よりMMWINの眼科連携システムを利用し眼科データの施設間共有による患者さんの通院回数の軽減や、遠隔カンファレンスシステムによる医療相談、東北大学病院での視野検査の軽減（かかりつけ医側で検査した視野データの参照）、眼科医師の人手が足りない遠隔診療への応用、個別公開機能を活用した受診前連携と、眼科診療における数多くの活用事例をご紹介いただきました。さらに、眼科連携システムではAI解析プラットフォーム構築と将来構想についてお話を伺いました。

講演2では、さとう腎臓内科ひ尿器科院長 佐藤正嗣先生より透析施設における画像連携システムの有用性についてお話しいただきました。さとう腎臓内科ひ尿器科はクリニックとしては数少ない自院の画像情報（シャント画像等）を開示されている施設であり、開示することによる紹介先施設でのメリット等についてご講演いただきました。なお、佐藤先生のクリニックでは、ほぼ全員の透析患者さんがMMWINに加入されており、患者さんの体調の急変、夜間の対応に備えられています。

質疑応答において、参加者の皆さまから、「眼科領域でのMMWINの利活用について分かりやすく参考になった」、「眼科独自の取り組みが、腎臓内科、透析の領域でも同様にできれば良い」といった声がありました。また、ご講演いただいた佐藤先生からは、検査結果情報のダウンロード簡便化といったシステムの改善要望をお聞きしました。

開催案内が直前となってしまいました。14施設のご参加をいただきました。アンケートのご回答では、今後の講演内容として「各病院のMMWIN活用方法」「地域CKD連携」「病院とクリニックの透析連携」「災害発生時の対応策」をご要望いただきましたので、これらの要望等を踏まえ次回の開催を計画してまいります。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】[office@mmwin.or.jp](mailto:office@mmwin.or.jp)

『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。

